

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立馬込東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・1学年は、表やグラフから地理的な情報を読み取ることができるようになった。
- ・2学年は、表やグラフから資料の読み取りや内容をまとめる力がついた。
- ・3学年は、表やグラフから考察して情報を引き出す力がついてきた。

(2) 課題

- ・1学年は、基礎・基本的な知識のさらなる定着を図り、資料を活用する力を向上させる。
- ・2学年は、映像資料や教科書等の資料を用い、視覚的な面から関心・意欲を引き出す。
- ・3学年は、多角的に資料を読み取れるようにし、今までの復習を行う。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値に比べ、約3ポイント高い数値が表れている。すべての観点において目標を達成しており、基本的な学習内容を身につけることができる。		
第2学年	目標値に比べ、約1ポイント低い数値となった。思考・判断・表現は目標値を達成するも、知識・技能、主体的に学習に取り組む態度に課題が見られる。	知識・技能では目標値を上回り、基本的な語句の定着がみられる。一方、懸念されていた思考・判断・表現の達成率も一定の数値の達成は見られる。今後に不安を残さないように、応用力をつけていくことが喫緊の課題といえる。 (第1学年時)	
第3学年	目標値に比べ、約9ポイント高い数値が表れている。学習意欲が高く、基本的な知識や応用力が定着している。	目標値を上回ることができた。地理分野・歴史分野ともに基本的な学習内容を身につけることができる。 (第2学年時)	目標値に比べ、5ポイントほど高い数値が表れている。基本的な学習内容が身につけている生徒が多い。(第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な用語については習得できている生徒が比較的多い。用語の活用や発展的な問題についても答えを導くことができる力が今後求められる。	資料（表やグラフ）を正確に読み取ることは比較的できているが、思考を伴う資料の活用や、表現に課題が見受けられる。	学習意欲は比較的高く、授業に主体的に臨む姿勢が見受けられる。今後は、重要なポイントの整理やノートを取り方などを身に付け、学習活動の効果を上げる必要がある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な用語の習得に苦労する生徒が比較的多い。また、これまでに学習した内容の中で重要語句の取りこぼしやしっかりと定着が図られていない箇所も多く見受けられる。	基本的に表やグラフの問題に答える素地はもっている。しかし、複雑な資料の読み取りや思考を伴う問題ではミスが目立つ。	授業中の口頭試問にはよく取り組んでいる。また、宿題やノート作成もポイントを理解し、それに沿った学習活動が臨めるようになってきている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な知識・技能がしっかりと身につけている生徒が多い。しかし、用語の活用において、定着が図られていない箇所が見受けられる。	資料をもとに考察する力が身につけている。また、自分の考えを適切に表現することにおいて、ミスが見られる箇所がある。	授業内や授業外においても、生徒の学習意欲が高い。また、学習課題に対して主体的に活動しようとする姿勢が見受けられる。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な用語だけでなく、用語の活用や発展的問題まで丁寧に確認していきたい。また知識の定着を図るための毎時の復習や単元テストを効果的に取り入れていきたい。	資料を確認するだけでなく、思考を伴う資料活用や表現を学習活動に多く取り入れていく。ICTを活用して自分の考えだけでなく、他者との意見共有の中で、思考の幅を広げていきたい。	毎授業に1回以上のICTを活用した学習活動を取り入れ、学習意欲をより高めたい。また、重要なポイントやノートの取り方を身に付けられるよう、学習の個別指導化を図っていく。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な用語の習得や重要語句をしっかりと定着させる授業が求められる。そのためには、口頭試問や単元テストを通して知識の幅を広げていくことが今後も求められる。	資料活用に多くの時間を割いて、表やグラフの問題に慣れさせたい。また、良質な資料問題や思考力を養う問題を精選し、授業に活用していきたい。	授業中の口頭試問は今後も継続していく。また、宿題やノート作成についても多面的に評価していきたい。引き続き、生徒が楽しいと思える授業の展開に腐心したい。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な用語や事象を、背景を踏まえて確認し、口頭試問や確認テストを通して、さらなる知識の定着を図っていきたい。また、発展問題も交えて資料から読み取る力を高めていきたい。	資料をもとに、自分の考えをまとめて表現する活動を多く取り入れていきたい。また、意見共有を行い、他者の考えに触れることで、自身の思考を広げていきたい。	口頭試問や確認テストを今後も継続していく。また、生徒が楽しいと思える授業を行うために、体験を通して、事象を理解できるような授業を展開していく。